

福島経済マンスリー

10月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成28年10月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では3ヵ月ぶりに前年比で増加した。一方、新車登録台数は、2ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、請負金額が3ヵ月ぶり、保証金額が2ヵ月連続、件数が2ヵ月ぶりいずれも前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が6ヵ月ぶり、床面積と工事費予定額が5ヵ月ぶりいずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は4ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、持家と分譲がともに2ヵ月連続で前年を下回った。一方、貸家は4ヵ月連続で前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整値が2ヵ月ぶりで前月を下回り、原指数が10ヵ月連続で前年を下回った。業種別に前月比をみると、7業種で上昇し、12業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を0.07ポイント上回ったが、原数値が前年を0.02ポイント下回った。一方、雇用保険受給者実人員は前年を2.7%下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は9月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		28年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.7	0.7	2.3	△ 1.8	r △ 2.0	P 0.8
	乗用車新車登録台数	△ 2.4	△ 4.1	1.5	2.1	△ 0.6	△ 0.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	64.0	△ 22.1	△ 24.3	77.1	59.8	△ 6.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	12.9	△ 51.6	△ 32.2	△ 40.0	△ 32.2	4.6
住宅投資	新設住宅着工戸数	11.1	△ 11.1	18.9	29.4	3.3	19.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.1	△ 3.5	△ 10.4	△ 2.6	△ 1.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.01	0.01	△ 0.08	△ 0.11	△ 0.11	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	0.6	△ 5.1	△ 6.7	△ 0.6	△ 4.1	△ 2.7

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		28年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	4.9	△ 5.9	5.6	0.9	r △10.8	P 8.6
	乗用車新車登録台数	△ 3.2	24.4	△ 6.0	△ 18.7	40.5	△ 14.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	33.0	4.0	△ 45.8	110.6	△ 23.1	△ 19.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 6.5	△ 38.1	△ 32.2	△ 13.6	50.8	222.6
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 13.8	△ 8.2	13.7	2.0	△ 15.4	20.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 5.4	1.6	△ 3.4	3.8	△ 1.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.02	△ 0.04	△ 0.03	△ 0.05	0.00	0.07
	雇用保険受給者実人員	10.8	5.1	△ 1.4	5.8	△ 6.0	△ 5.4

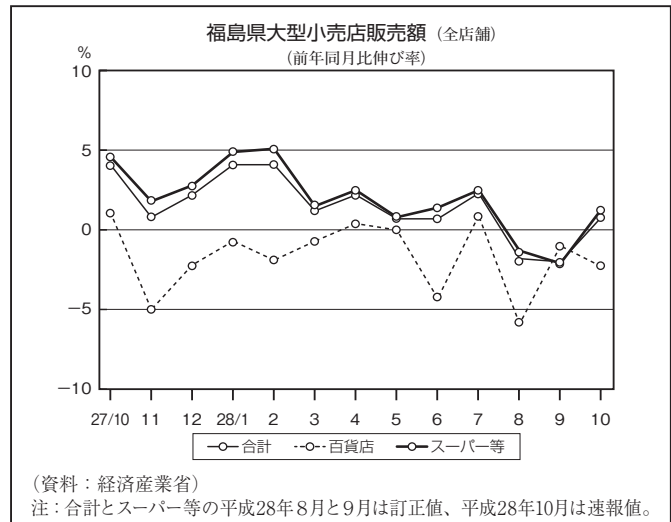
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

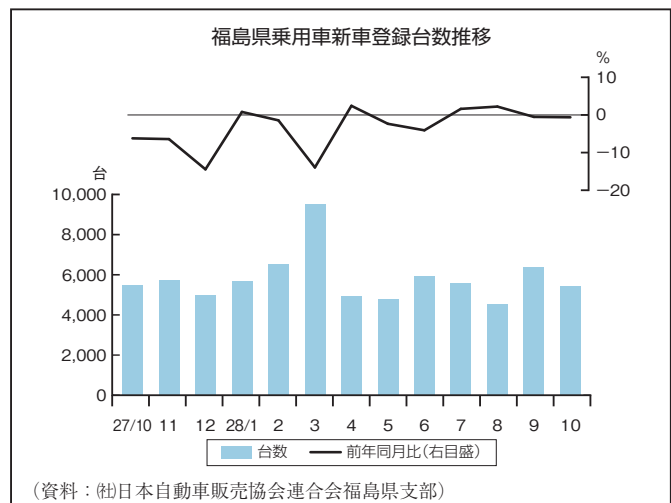
大型小売店：3ヵ月ぶりで前年比増

10月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース、速報値）は、合計で207億36百万円（前年同月比+0.8%）と3ヵ月ぶりで前年を上回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△2.3%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+1.3%となった。



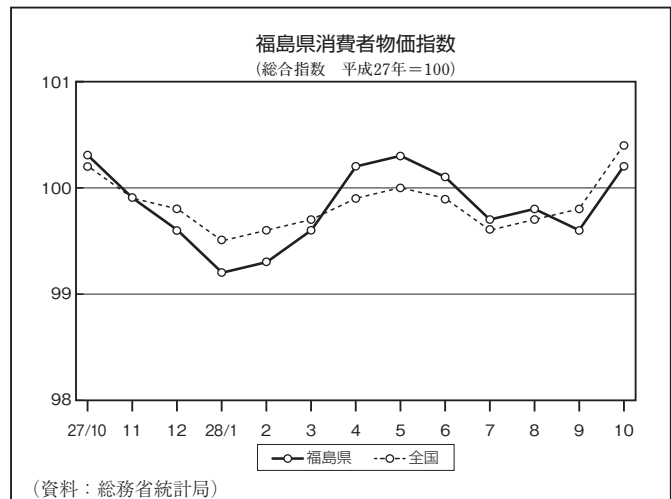
乗用車販売：2ヵ月連続で前年比減

10月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,445台（前年同月比△0.7%）となり、2ヵ月連続で前年を下回った。車種別でみると、普通車は1,846台（同+14.7%）と7ヵ月連続で前年を上回った。一方、小型車が1,696台（同△4.9%）と10ヵ月連続、軽乗用車が1,903台（同△9.0%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



消費者物価指数：前年比が下降、前月比が上昇

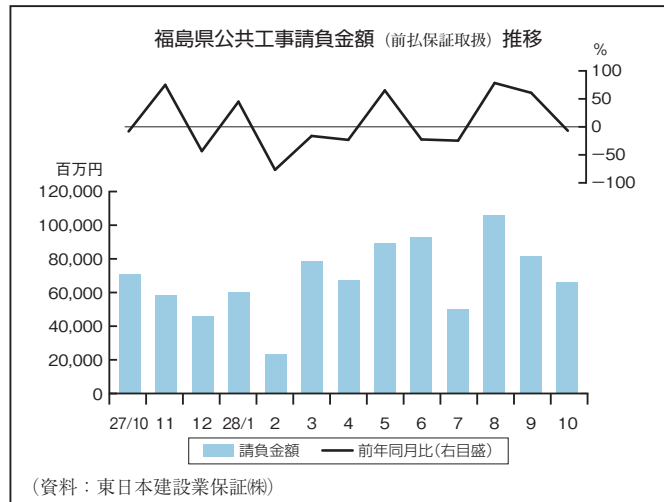
10月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成27年=100）でみると、100.2で前年同月比△0.1%、前月比+0.6%となった。費目別に前月比でみると、「交通通信」が97.6（同△0.2%）など2費目で下降したが、「家具・家事用品」が100.7（同+2.1%）など5費目で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は3ヵ月ぶりで前年比減

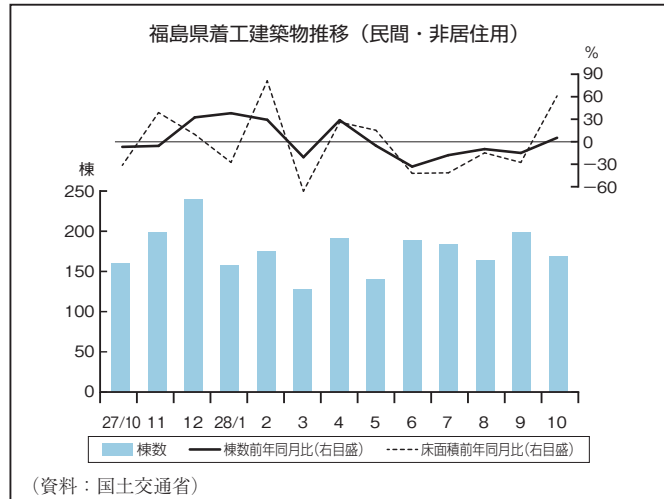
10月の公共工事前払保証取扱は、請負金額が666億8百万円（前年同月比△6.8%）と3ヵ月ぶり、保証金額が315億81百万円（同△17.9%）と2ヵ月連続、件数が814件（同△1.6%）と2ヵ月ぶりでいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が5ヵ月ぶりで前年比増

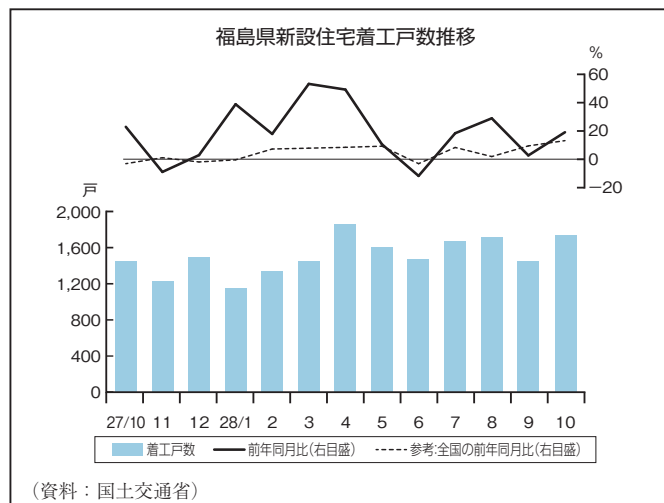
10月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が168棟（前年同月比+5.0%）と6ヵ月ぶり、床面積が174,505㎡（同+60.2%）、工事費予定額が365億40百万円（同+4.6%）とともに5ヵ月ぶりで前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：4ヵ月連続で前年比増

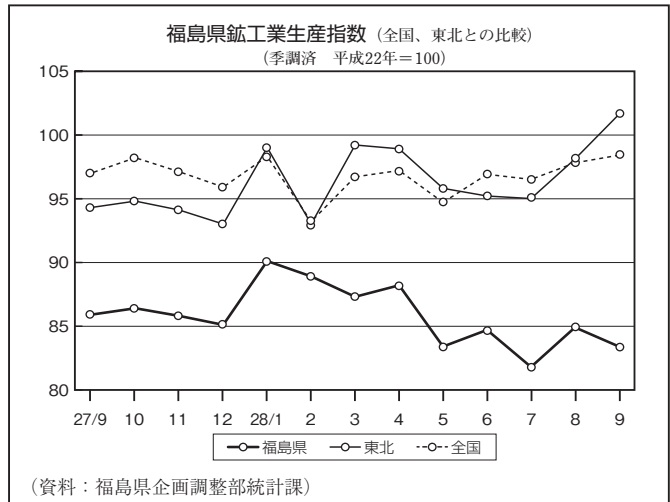
10月の県内新設住宅着工戸数は、1,739戸（前年同月比+19.6%）と4ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が553戸（同△2.8%）、「分譲」が104戸（同△31.1%）と、ともに2ヵ月連続で前年を下回った。一方、「貸家」は1,072戸（同+47.1%）と4ヵ月連続で前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比が下降

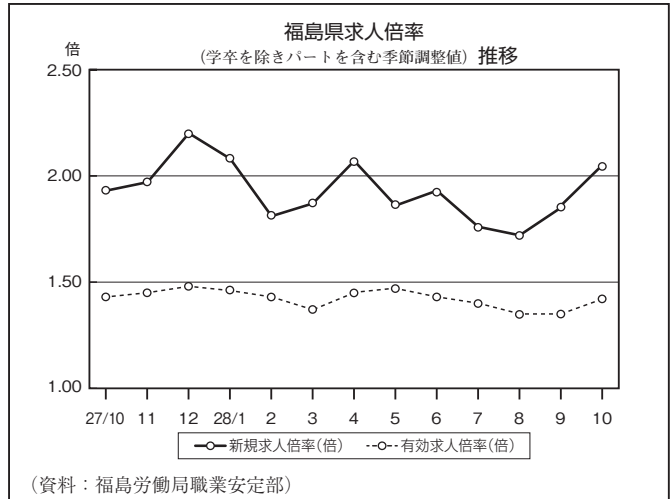
9月の鉱工業生産指数は、83.4（季節調整値）で前月比△1.8%と2ヵ月ぶりで前月を下回り、原指数が85.6で前年比△1.8%と10ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「鉱業」（前月比+4.3%）など7業種で上昇したが、「木材・木製品工業」（同△18.6%）など12業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は前年比減

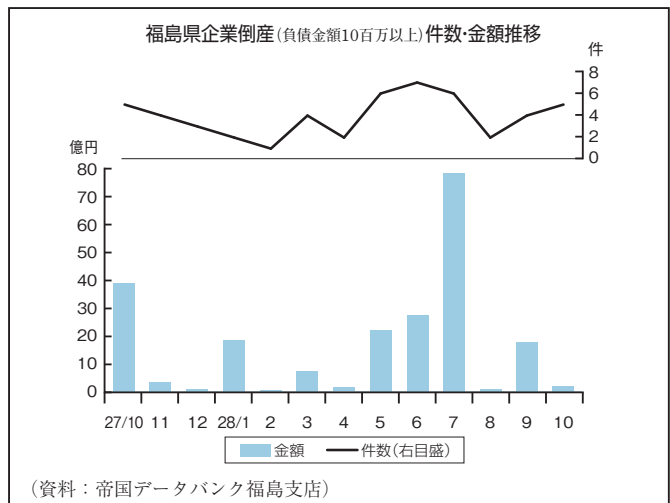
10月の新規求人倍率は、季節調整値が2.04倍（前月比+0.19ポイント）、原数値が2.25倍（前年同月比+0.10ポイント）となった。また、10月の有効求人倍率は、季節調整値が1.42倍（前月比+0.07ポイント）、原数値が1.48倍（前年同月比△0.02ポイント）となった。一方、10月の雇用保険受給者実人員は6,150人（前年同月比△2.7%）で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比で大幅減

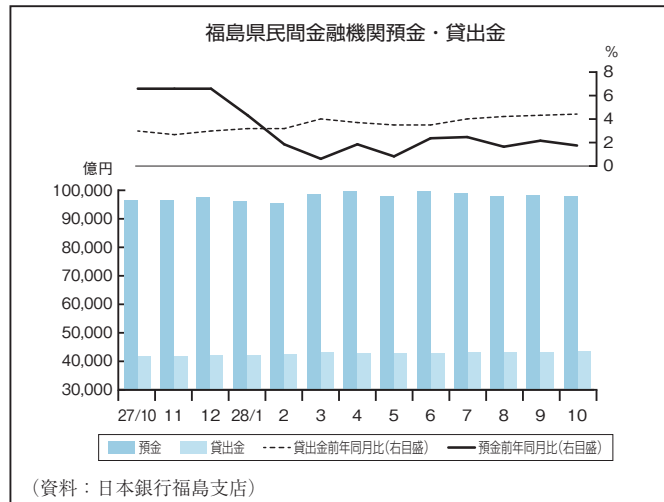
10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が5件（前年同月比0.0%）、負債総額が1億74百万円（同△95.5%）となり、負債総額は前年を大きく下回った。業種別では、建設業が2件、製造業、小売業、サービス業が各1件となった。



金融動向

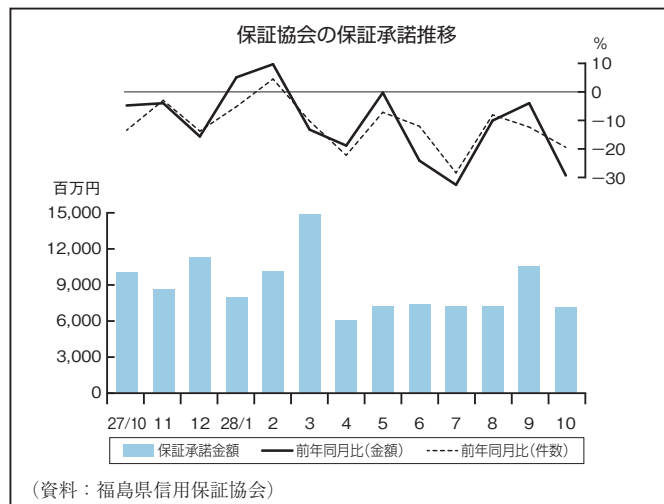
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の10月末の預金残高は、9兆8,223億円（前年同月比+1.7%）と9年8ヵ月連続、貸出金残高は、4兆3,397億円（同+4.3%）と41ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比増

10月の保証承諾は、件数が614件（前年同月比△19.5%）、保証金額が71億14百万円（同△29.4%）となった。また、10月末日現在の保証債務残高は、件数38,790件（同△9.6%）、金額3,362億55百万円（同△10.1%）となった。一方、10月中の代位弁済は、件数が55件（同+175.0%）、金額が5億30百万円（同+373.7%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 10月の家電量販店の売上高は、テレビや洗濯機などが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 10月のホームセンターの売上高は、作業用品やカー用品などが前年を下回ったことから、合計でも前年をわずかに下回った。

旅行 10月の旅行取扱額は、国内が前年を下回ったものの、海外が団体を中心に前年を上回ったこと

とから、合計でも前年比で60%以上増加した。

高速道路 10月の県内自動車道出入口数は、合計で5,722,332台（前年同月比+0.5%）と、3ヵ月ぶりで前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,789,084台（同+0.1%）と32ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は413,737台（同+0.2%）と3ヵ月ぶり、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,826,764台（同+0.4%）と4ヵ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は692,747台（同+2.0%）と10ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。

福島空港 10月の福島空港国内定期路線の利用状況は、24,876人（前年同月比+2.5%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は6,884人（同+6.9%）、大阪便は17,992人（同+0.8%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

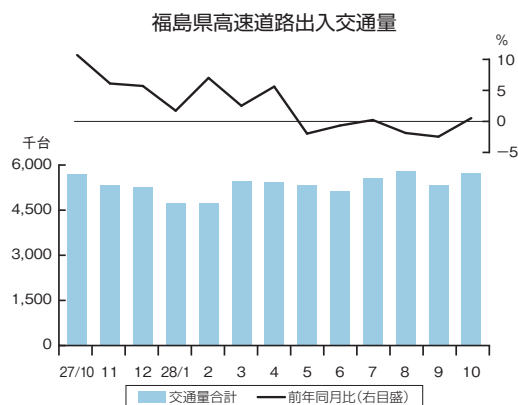
化学 10月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国の関税率引き上げを見込んだ増産などから、合計では前年をやや上回る生産となった。

鉄鋼・金属 10月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が海外からの受注増などから、前年を10%以上上回る生産水準となった。また、半導体向け電子材も、外需に回復の動きがみられ始め、前年を30%程度上回る生産となった。10月の建機用鋳造品は、中国の関税率引き上げ前の駆け込み需要から、前年を30%以上上回る生産となった。陸船用バルブは、船舶向けの受注量が減少したことなどから、生産額は前年を20%ほど下回った。

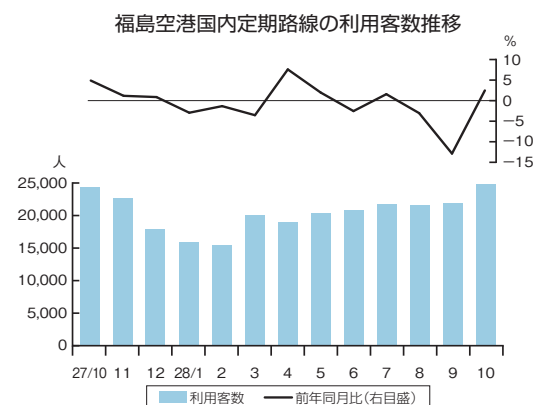
輸送用機械 10月の鋳造品は、トラック用では、インドネシアなどの新興国による受注が減少しており、合計では前年を15%程度下回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売市場が回復し始めたことなどから、全体では計画を上回る生産となった。

電気機械 10月の電気機械の生産は、変圧器が前年を下回ったものの、配電盤と誘導炉が前年を上回ったことから、合計では前年を10%ほど上回った。

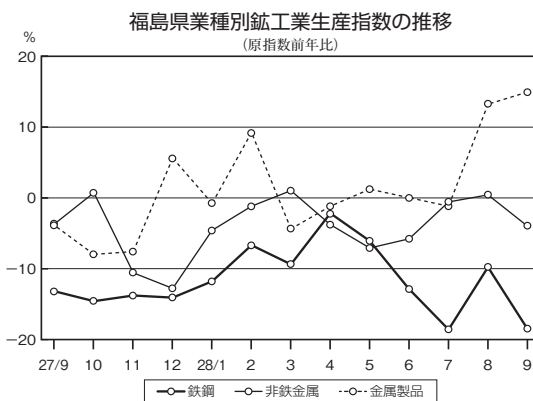
情報通信機械 10月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）、国内向けモバイル基地局とも前年を下回ったことから、合計では前年比で10%ほど減少した。



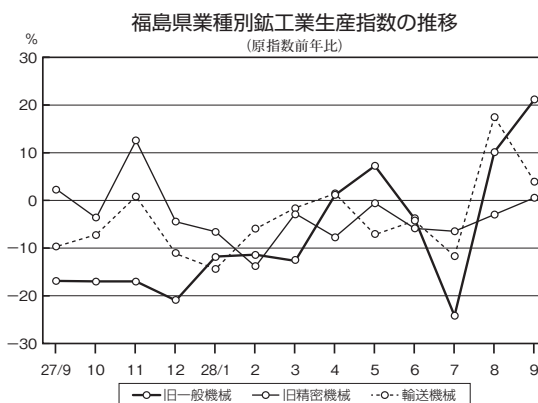
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

電子部品・デバイス 10月のLSI（大規模集積回路）の生産は、受注量が回復基調で推移していることから、前年を40%程度上回る水準を保っている。

精密機械 10月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年並みの生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量がほぼ横ばいで推移していることから、全体では前年並みの生産水準となった。

窯業・土石 10月の生コンクリート出荷量は、全体で174,670m³（前年同月比△18.5%）と8ヵ月連続で前年を下回った。民需・官公需別にみると、民需は6地区がすべて前年を下回り、合計で同△19.3%となった。また、官公需も白河を除いた5地区が前年を下回ったことから、合計で同△27.5%となった。

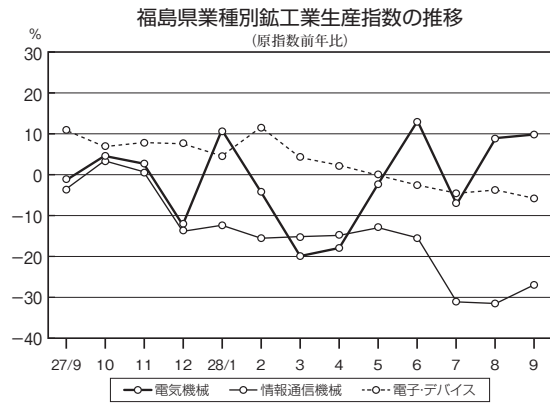
紙・紙加工品 10月の製紙の生産は、インクジェットが前年を下回ったものの、感熱紙が前年を上回るなど、合計では、ほぼ前年並みの水準を保った。

清酒 10月の清酒移出数量は、1,068kL（前年同月比△11.1%）と2ヵ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が543kL（同△17.0%）、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が525kL（同△4.1%）と、ともに2ヵ月連続で前年を下回った。

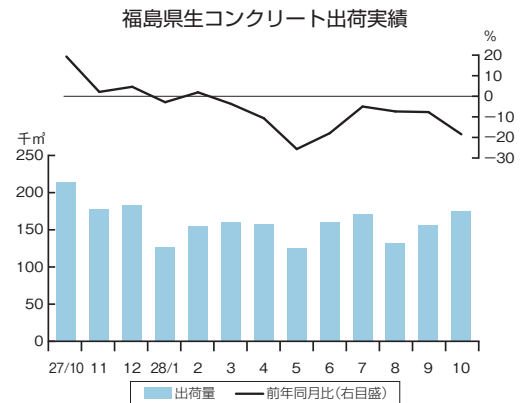
化合繊維物 10月の化合繊維物は、単価の上昇と生産量の増加により、生産額が前年比で10%ほど増加した。

ニット 10月のニットは、秋冬物製品の受注量が前年を下回ったことから、生産額も前年を約30%下回った。

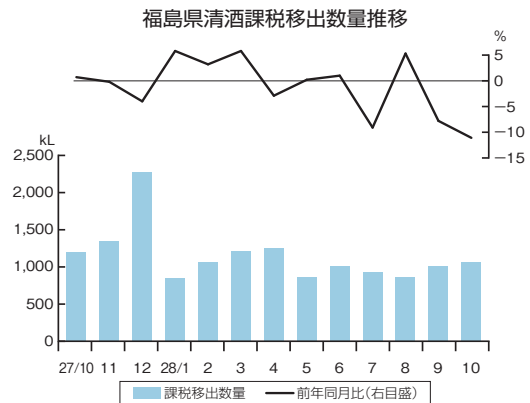
電灯電力 10月の電灯電力販売量は、1,063百万kWh（前年同月比△1.1%）となり、2ヵ月ぶりで前年を下回っている。



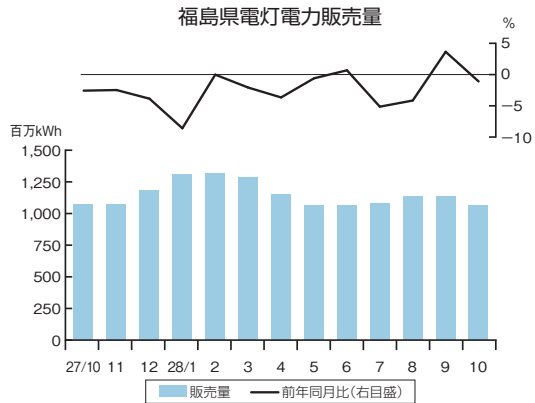
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)